

# 令和4年度 当初予算重点施策説明書

当初予算提出時点(査定前)

## 教育委員会

(単位:千円)

款	項	目	細目	細目名	概要説明	R4当初 予算額	R3当初 予算額	R4当初予算額の財源内訳			
								国県支出金	市債	その他	一般財源
<b>教育総務課</b>											
10	1	2	13	奨学資金給費事業費	(1)奨学資金給費事業(高校生向け) 有為の生徒で学資に乏しい者に対し、年6万円を給付します。 令和3年度に新たな寄附を受けたため、令和4年度から新規給付人数を2人増やし、14人とします。	2,040	2160			2,040	
10	1	2	80	高校入学準備資金給付事業費	(2)高校入学準備資金給付事業 経済的な理由により進学が困難な世帯の子の進学を後押しするため、高校入学時に5万円を給付します。定員20人 (3)奨学資金給付事業(大学生向け) 学業成績優秀者、又はスポーツ、文化活動に卓越した成果を挙げた者で経済的理由により大学修学が困難な者に対し、年30万円を給付します。	1,000	1000			1,000	
10	1	2	81	奨学資金給付事業費	令和3年度に新たな寄附を受けたため、令和4年度から新規給付人数を2人増やし、6人とします。	5,100	4500			2,110	2,990
10	2	3	37	小中一貫教育校建設事業費	笠原地区における幼保小中一貫教育を推進するため、小中一貫校(義務教育学校)の建設に向けた取り組みを進めます。令和4年度は、基本設計と実施設計を行います。	91,200	23,992				91,200
<b>教育推進課</b>											
10	1	2	58	教育基本計画策定事業費	第3次教育基本計画(計画期間:令和5年度からの5年間)の策定に伴う市民委員会(5回予定)の開催費用、計画冊子及びダイジェスト版の印刷製本費です。	357					357
10	1	2	71	いじめ防止対策推進事業関係費	小学校5年生、6年生、中学校1年生の3学年を対象に、「誰でも幸せになる権利=人権」を扱う弁護士の「いじめ防止・自立と共生授業」を行います。令和3年度より回数を増やし、いじめを許さない、起こさせない心情を持ち合わせる児童生徒の育成をより一層推進します。	281	231				281
10	1	2	82	小中一貫教育校調査研究費	笠原地区での小中一貫教育校(義務教育学校)設置に向けた調査・研究を行います。「多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会」の開催(6回)、先進地視察に要する経費です。	972	972				972

款	項	目	細目	細目名	概要説明	R4当初 予算額	R3当初 予算額	R4当初予算額の財源内訳			
								国県支出金	市債	その他	一般財源
<b>食育推進課</b>											
10	8	1	6	学校給食調査研究費	食育の推進のため、児童・生徒及び保護者向けの事業を実施します。 (1)食育センター施設見学 食育センターの見学を通して、食育を促進します。(市内の小学3年生) (2)食のうながっぱプロジェクト 栄養講座等のイベントを通して、子ども、学校、家庭、地域へ、より具体的な食の情報を発信・啓発します。 (3)新たに食育推進委員会を設置し、学校での食育の取組を支援します。	3,131	640				3,131
<b>教育研究所</b>											
10	1	3	42	土曜学習講座実施事業費	「ふるさと多治見」について学ぶ機会を提供し、豊かな体験活動を通して休日を有意義に過ごすとともに、郷土に愛着を感じる児童生徒を育成するため、土曜学習講座の充実を図ります。	960	848	400			560
10	1	3	45	学力向上調査研究事業費	小学2年生から小学5年生を対象に標準学力検査(国語・算数)を実施し、その結果を各学校の「指導改善プラン」や本市児童の学習状況把握に活用し、学力向上に係る施策の充実を図ります。	2,477	2,650				2,477
10	1	3	47	学校ICT活用推進事業費	令和3年度に1人1台の学習用端末(タブレット)が市内全ての児童生徒に配布されたことに伴い、その効果的な活用方法や授業改善、充実した研修等を進めます。	1,501	168				1,501
<b>文化財保護センター</b>											
10	6	2	3	文化財保護普及啓発費	令和4年度から、小中学校の余裕教室における文化財展示を順次行います。次代を担う児童・生徒に自らが住む地域の文化財の魅力に触れる機会を提供し、ふるさとへの愛着を育みます。	6,764	1,042			9	6,755
10	6	2	114	加藤助三郎文書調査事業費	多治見の窯業史のみならず、日本の近代窯業史を知る上で非常に貴重な史料である加藤助三郎家に伝わっていた古文書を調査しています。12年計画の4年目となります。	4,159	4,098				4,159